

# 生物多様性って何だろう？

人間も含めた、たくさんの種類の生きもの全てが、複雑に関わり合って存在していることを「生物多様性」といいます。

私たちは、生物多様性から生み出されるさまざまな自然の恵みに支えられています。例えば、森は二酸化炭素を吸収し、酸素を作ります。また、森は水をきれいにしたり、水をたくわえたりする働きによって、洪水を防いでいます。燃料や食料、さまざまな商品の原料など、生活に必要なものすべてが、生物多様性がもたらす自然の恵みです。

## 供給サービス

食料、燃料、木材、繊維、薬品、水等、人の生活に必要な資源を供給するサービス

## 調整サービス

気候の緩和、洪水の抑制、水の浄化等の環境を制御するサービス



出典)「生物多様性広報パネル」(環境省)より作成

## 私たちに身近な生物多様性をピックアップ！



### 新幹線 500 系はカワセミのクチバシから生まれた～バイオミミクリー(生物模倣)～

私たちの身近には、生きものの形態や機能を模倣したり、着想を得たりして作られたものが数多くあり、これらはバイオミミクリー(生物模倣)とされています。例えば新幹線 500 系の形状は、カワセミのクチバシから着想を得ています。細長いクチバシの形状を模倣することで、高速化による騒音の問題を解決することができました。

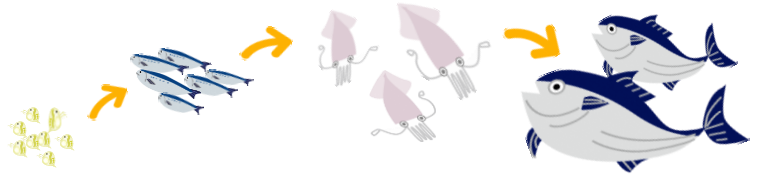


## スーパー等の魚売り場は生物多様性の縮図！？

スーパー等の魚売り場では、イワシやサンマ等の小さな魚から、マグロやカツオのような大型の魚まで多種多様な魚を目にすることができます。

一般的に、海に棲む生きものは体が大型になるほど大きな餌を必要とします。例えばマグロやカツオはエサとしてイカや小魚を食べ、イカは小魚を食べます。その小魚は小さな動物プランクトンを食べています。このような生きものの関係を「食物連鎖」と言います。

つまり、私たちが食べているマグロやカツオは、小さなプランクトンが豊富に存在する生物多様性に富んだ海で生まれ、私たちの食を豊かなものにしてくれるのです。



## 生物多様性に危機が迫っている！？

生物多様性が失われている原因には人間の活動も関係しており、生物多様性に関する問題は、日本だけでなく世界の環境問題となっています。生物多様性が失われると、自然の恵みも失われてしまいます。

### 生物多様性に関する問題を引き起こす主な原因

#### 人間活動による影響



農薬を大量に使うことや、必要以上に森の木を切ることは、生きもののすみかに影響を及ぼすことがあります。

#### 里山の管理不足

里山の森林などの管理が不足しているため、そこをすみかとする生きものが減っています。



#### 化学物質

プラスチックなどの分解されにくい化学物質が、生きものに悪い影響を及ぼすことがあります。

#### 外来種

外来種が、その地域にもともといた生きものを食べたり、すみかをうばったりしています。

#### 地球環境の変化

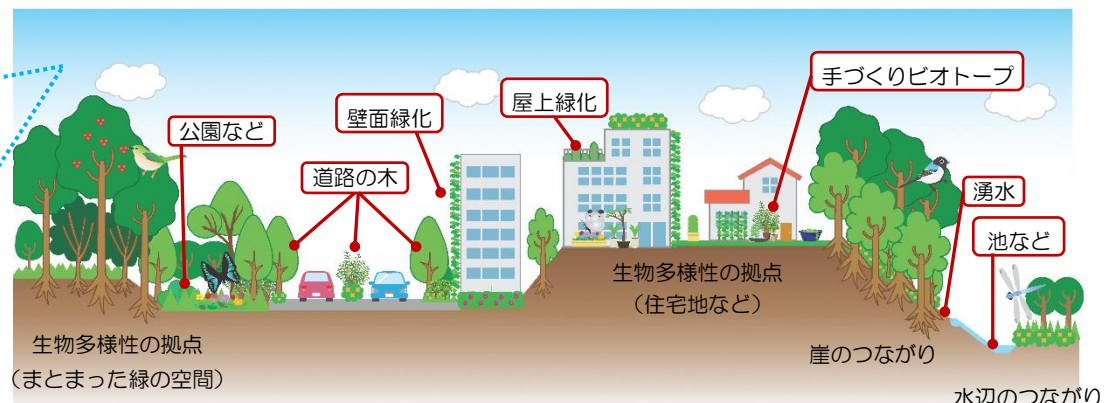
地球温暖化などの気候の変化で、すみかを変えることが難しい生きものが絶滅の危機にさらされています。



## 緑と緑の「つながり」が大切

文京区を、さらに生きものたちの暮らしやすい環境にしていくために、何ができるでしょうか。今ある緑と緑をつなぎ、生きものが自由に移動できる環境をつくるのが大切です。

大きな緑が道路の木や庭、花壇、公園などでつながると、生きものたちの行き来がしやすくなって、数や種類も増えることが期待できます。



緑と緑の「つながり」のイメージ